

【 杵 築 市 】

令和３年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

児童質問紙

<基本的生活習慣等>

- 「朝食を毎日食べているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は94.3%であり、県・全国とほぼ同じ。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は83.8%であり、県・全国よりもやや高い。
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は89.4%であり、県・全国より少し低い。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は68.4%と県・全国を比べると少し低い。

<挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等>

- 「自分には、よいところがあるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、75.9%であり、県・全国とほぼ同じ。
- 「将来の夢や目標を持っているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、82.9%であり、県・全国と比べて高い。
- 「人が困っているときには、進んで助けるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、91.3%で県・全国と比べて高い。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、96.5%であり、県・全国と比べて少し低い。

<学習習慣等>

- 「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、74.5%であり、全国よりも高いが、県と比べると低い。
- 月曜日から金曜日に「1日に1時間以上勉強する」と回答した割合が、67.6%であり、県・全国と比べて高い。
- 月曜日から金曜日に「1日に30分以上読書をする」と回答した割合が、50.0%であり、県と比べると低い、全国と比べると10ポイント以上高い。「全くしない」と回答した割合は、16.2%であり、県・全国と比べて低い。
- 「新聞を読んでいるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、10.9%であり、県よりも少し高いが、全国と比べると低い。

＜ICT を活用した学習状況＞

- 「５年生までに受けた授業で、コンピュータなどの ICT をどの程度使用したか」という質問に対して「週１回以上」と回答した割合は、２９．３％であり、県・全国よりも低い。
- 「学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思うか」という質問に対して、肯定的な回答の割合は、９４．８％であり、県・全国とほぼ同じ。

＜地域や社会に関わる活動の状況等＞

- 「今住んでいる地域の行事に参加しているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は６３．６％であり、県・全国と比べると高い。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は５１．３％であり、県・全国と比べると低い。

＜主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況＞

- 「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えたか」という質問に対して肯定的な回答の割合は、８２．９％であり、県・全国と比べて高い。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」という質問に対して肯定的な回答の割合は、８０．７％であり、県・全国と比べて高い。

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）＞

- 「国語の勉強は好きか」との質問に肯定的な回答の割合は、６４．９％であり、県・全国と比べて高い。「国語の勉強は大切である」と肯定的な回答の割合は９４．７％、「国語の授業の内容はよく分かる」と肯定的な回答の割合は８７．８％で、どちらも県・全国と比べるとほぼ同じか高い。
- 「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしているか」の質問に対して肯定的な回答の割合が８３．７％で、全国と比べると高いが、県よりは少し低い。
- 「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり、自分の考えを広げたりしているか」という質問に肯定的な回答の割合が７５．８％で、県・全国よりも少し高い。

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）＞

- 「算数の勉強は好きか」との質問に肯定的な回答の割合は、６９．３％であり、県・全国より高い。「算数の勉強は大切である」と肯定的な回答の割合は９６．９％で県・全国と比べて高い。「算数の授業の内容はよく分かる」と肯定的な回答の割合は８８．６％で県・全国と比べて高い。
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるか」の質問に対して、肯定的な回答の割合が８６．０％で県・全国と比べて高い。
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているか」の質問に対して肯定的な回答の割合が、９６．１％で、県・全国と比べて高い。

生徒質問紙

<基本的生活習慣等>

- 「朝食を毎日食べているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は90.0%であり、県・全国と比べると低い。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は74.7%であり、県・全国よりも低い。
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は91.4%であり、県・全国より少し低い。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は59.4%と県・全国と比べると5ポイント以上低い。

<挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等>

- 「自分には、よいところがあるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、70.8%であり、県・全国と比べて低い。
- 「将来の夢や目標を持っているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、63.2%であり、県・全国と比べて低い。
- 「人が困っているときには、進んで助けるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、84.7%で県・全国と比べて低い。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、92.4%であり、県・全国と比べて少し低い。

<学習習慣等>

- 「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、54.0%であり、県・全国より低い。
- 月曜日から金曜日に「1日に1時間以上勉強する」と回答した割合が、76.0%であり、全国と比べて高いが、県と比べて低い。
- 月曜日から金曜日に「1日に30分以上読書をする」と回答した割合が、28.7%であり、県・全国とほぼ同じ。「全くしない」と回答した割合は、42.1%であり、県と比べて低い。
- 「新聞を読んでいるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は、9.1%であり、県よりも少し高いが、全国と比べると低い。

<ICTを活用した学習状況>

- 「2年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用したか」という質問に対して「週1回以上」と回答した割合は、32.5%であり、県・全国よりも低い。
- 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うか」という質問に対して、肯定的な回答の割合は、98.1%であり、県・全国と比べると高い。

＜地域や社会に関わる活動の状況等＞

- 「今住んでいる地域の行事に参加しているか」の質問に対して肯定的な回答の割合は40.2%であり、県・全国と比べると低い。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」の質問に対して肯定的な回答の割合は38.3%であり、県・全国と比べると低い。

＜主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況＞

- 「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えたか」という質問に対して肯定的な回答の割合は、80.9%であり、県・全国と比べて低い。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」という質問に対して肯定的な回答の割合は、76.1%であり、県・全国と比べて低い。

済

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）＞

- 「国語の勉強は好きか」との質問に肯定的な回答の割合は、76.6%であり、県・全国と比べて10ポイント以上高い。「国語の勉強は大切である」と肯定的な回答の割合は92.8%、「国語の授業の内容はよく分かる」と肯定的な回答の割合は85.1%で、どちらも県・全国と比べると高い。
- 「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしているか」の質問に対して肯定的な回答の割合が85.1%で、県・全国と比べると高い。
- 「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたりしているか」という質問に肯定的な回答の割合が74.2%で、県・全国よりも低い。

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）＞

- 「数学の勉強は好きか」との質問に肯定的な回答の割合は、61.8%であり、県・全国より高い。「数学の勉強は大切である」と肯定的な回答の割合は83.7%で県・全国と比べて低い。「数学の授業の内容はよく分かる」と肯定的な回答の割合は67.9%で県・全国と比べて低い。
- 「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるか」の質問に対して、肯定的な回答の割合が71.7%で県・全国と比べて低い。
- 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているか」の質問に対して肯定的な回答の割合が、87.5%で、県よりは低いが生徒・全国と比べて高い。

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）＞

- 「英語の勉強は好きか」との質問に肯定的な回答の割合は、54.9%、「英語の勉強は大切だと思うか」の質問に肯定的な回答の割合は、79.4%、「英語の授業はよく分かる」と肯定的な回答の割合は、59.4%といずれも県・全国より低い。
- 「1、2年生のときに受けた授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができていた」との質問に肯定的な回答の割合は、70.8%であり、県と比べて低いが生徒・全国と比べて高い。

2 杵築市の児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

「自立した学習者の育成」に向けて

(小学校)

- ・学びを実感させたり、主体的な学習につなげたりするための「振り返り」の視点を意識した取組の推進。
- ・1 単位時間の授業や単元を通した学習内容について、他者と協働して得た意見を踏まえた振り返りの充実。
- ・各自に目標を持たせ、時間や回数、ペース等取り組み方の工夫の推進。
- ・発達段階に応じた自主学習の取組の推進。
- ・「集会」や「ふるさと発見学習」を設定。めあて・実行・振り返りのサイクルを大切にして知恵を出し合いながらの取組を図る。
- ・並行読書等の推進のための書籍の充実。

(中学校)

- ・評価の目的を再確認し、指導事項にそった評価を生徒に返す取組の推進。
- ・主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする場面設定の推進。
- ・言語活動ハンドブックを活用し、自分の考えを他者と広げたり、深めたりする場面設定の推進。
- ・家庭学習の点検による助言の充実。
- ・家庭学習の内容について、個に応じた支援・指導の推進。
- ・スマホやゲームの約束について家庭で話す場の設定。
- ・生徒会活動と連携した読書の推進。

(小・中学校共通)

○児童生徒の学習意欲の向上を図る。

- ・学びを実感できる授業づくり。
- ・基礎・基本の定着。
- ・自分の考えを深めたり、広げたりする話し合い活動の推進。
- ・学習で得た知識や技能を活用する、教科横断的な発想と実践。
- ・ICT を活用した授業づくりの推進。

○読書への興味・関心の向上を図る。

- ・授業における学校図書館の活用。

○地域や社会への興味・関心を深める。

- ・地域教材や地域人材の活用の推進。

○安心できる学校生活の構築と自尊意識の向上を図る。

- ・校内での相談体制の再確認と、SC・SSW等の活用推進。
- ・組織的に取組を進めていく校内体制づくりの推進。